



おおしま かずお 市長  
大嶋 一生  
就任のあいさつ

## 『継承』と『改革』で強く、優しい、人が輝く日光へ

市長就任に当たり、ごあいさつを申し上げます。

このたび、数多く市民の皆さまのご支援をいただき、4月23日から市政を担うことになりました。与えられた任務の重大さと、市長としての責任を強く感じており、覚悟をもって市政経営に臨んでまいります。

また、平成18年3月の合併に伴い、現在の日光市誕生から3期12年に渡り、市の発展にご尽力をいただきました齋藤文夫前市長に對し、心から敬意と感謝の意を表すものであります。

前市長の市政経営においても常に改革に取り組みされてこられたことと思います。その上で、私は『継承』と『改革』という言葉を発信してまいりました。良いことをしっかりと継承していくとともに、常に最善を目指して改革を行っていくことを意識して、市政経営に取り組んでまいります。

この『継承』と『改革』により持続可能なまちづくりを進めるため、私は次の3つの項目を掲げました。

### 1 強い日光を創る

現在の日光市は人口減少、少子高齢化が進んでいます。このため市の財政の余裕度を示す「経常収支比率」は悪化しており、持続可能なまちづくりを進めるためには、改革が待ったなしの状況です。行財政改革と職員の意識改革を進めるとともに、民間の経営感覚を取り入れ、市民に負担をかけずに、稼げる日光、強い日光を創ります。

#### 重点項目

- ①産業振興・雇用対策の充実  
観光協会との連携強化、農産物日光ブランドの発信強化、6次産業・産業間連携の推進
- ②防災・防犯の強化  
地域・自治会との連携強化、自主防災組織の充実、除排雪の対応強化、空き家対策の強化
- ③自治体経営の刷新  
組織のスリム化と管理職のマネジメント能力強化、公共施設マネジメントの

- 着実な実行、民間活力の導入・外部人材登用の検討、新たな財源の確保、職員の意識改革
- ④都市づくり  
安定的な道路・河川行政確立のための建設から維持事業へのシフト、コンパクトシティの推進

### 2 優しい日光を創る

将来を担う子どもたちへの確かな支援と高齢者・障がいのある人が笑顔で健やかに過ごすことができるよう福祉の充実を推進します。さらに、市民や来訪者のニーズに応じた公共交通体系の見直し、安定的な医療体制の確保など、地域に生きがいと安心をもたらす施策により、優しい日光を創ります。

#### 重点項目

- ①少子化対策・子育て支援  
小中学校通学費補助の拡充、多子世帯への給食費補助の充実、18歳未満の子ども医療費助成を継続、学校施設整備の充実

### 3 人が輝く日光を創る

- ②高齢者福祉・障がい者福祉の充実  
高齢者運転免許証自主返納支援制度の拡充、高齢者安全運転装置搭載車購入費補助制度の創設、障がい者就労支援の拡充
- ③地域公共交通の充実  
交通弱者に配慮した地域公共交通の充実、免許返納者や高齢者のバス料金無料化
- ④医療・健康対策  
安定的な医療体制の確保、軽運動の奨励、民間スポーツクラブとの連携
- ⑤環境対策  
再生可能エネルギーの導入拡大、国立公園内の環境対策強化

日光に息づく『伝統・文化・歴史』は、県内外はもとより、国外からも高い評価を受けています。その一方で、日光に住んでいる方がそれを十分に感じていないのが現状です。住んでいるところに大人が誇りを感じ、その意識が子どもにつ

なかり、「日光で生きていく」、「将来は日光に住む」という気持ちが育まれるものと考えます。未来や次世代を担う子どもたちや若者たち、ベテラン市民である高齢者、そして、さまざまな分野で活躍し、その能力を発揮する女性、全ての人々が輝く日光を創ります。

#### 重点項目

- ①子どもたちが輝くまちづくり  
小中学校の統廃合を推進し年代間の交流を促進、学校と地域のつながりの強化、英語教育の充実
- ②高齢者が輝くまちづくり  
異世代交流の場の創出、高齢者の集いの場(サロン)への支援
- ③若者が輝くまちづくり  
地元高等学校との連携強化、まちづくり活動の担い手育成強化、青年団体との連携強化
- ④女性が輝くまちづくり  
女性の起業促進、男性の育児・家事参加推進のための事業展開
- ⑤地域が輝くまちづくり

移住・定住のためのアピールポイントの積極的な発信、定住のための住宅取得後助成制度創設、文化財保存の充実、文化・芸術への支援強化、地域間・自治会間交流の促進、地域スポーツクラブへの支援

そのため、全ての市民が生きいきと輝いて暮らすことができるよう、市民の皆さまと対話を重ねながら、ともに日光市の未来を切り拓いてまいります。

日光市には、先人たちが築いた『伝統・文化・歴史・誇り・自信』(日光プライド)があります。これらを次世代につなぎ、「強く、優しい、人が輝く日光」を創るため、全力を尽くしてまいります。

地方自治体は人口減少や少子高齢化、財政の硬直化など、どこも同じような悩みを抱えています。日光市もこれからの数年が踏ん張りどころだと思っております。

市民の皆さまのご理解とご協力をいただきますよう、心からお願ひ申し上げます。

#### 大嶋一生市長プロフィール

##### 略歴

- 昭和40年1月25日生まれ(53歳)
- 県立栃木高等学校、東北福祉大学卒業
- 平成元年 葵建設株式会社入社
- 平成11年 社団法人今市青年会議所理事長
- 平成14年 社団法人日本青年会議所栃木ブロック協議会会長
- 平成15年～16年 栃木県行政改革推進委員
- 平成18年～22年4月 葵建設株式会社代表取締役
- 平成22年5月～26年3月 同相談役
- 平成22年4月～26年3月 日光市議会議員
- 平成30年4月～ 日光市長
- 家族：妻、長男、次男
- 趣味：ウォーキング、ゴルフ
- 座右の銘：  
「意志あるところ、必ず道あり」  
「受けた恩は石に刻み、かけた情けは水に流す」